

土間からひろがる
ミニマルハウス

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.120

M様ご家族／
ご夫婦、娘さんの3人住まい

こだわりがぎゅっと詰まった25坪の素敵なお住まい！ポイントは？



奥様 何といっても「土間サロン」がほしい、というのが一番の希望でした。はじめて見学した上田展示場を見たときから、趣味の編み物をするのにちょうど良いし、友人とお茶をするのも楽しそうだし、鉢植えをおいったり汚れを気にせず活用できそう…！と、土間でやりたいことがたくさん浮かびました。コンパクトな家ですが、玄関ホールを兼ねた多機能な空間にすることでゆったりとした土間スペースにできました。



ご主人 私はこの土間で、休日にビールを飲みながら景色を眺めてゆっくり過ごすことが多いです。実家の隣なので子どもの頃から親しんだ土地ですが、土間だとなぜか風景に見入ってしまうのが不思議ですね。



家を建てるよう決めたきっかけをおしえてください！



ご主人 娘が小学校にあがるまえには建ててあげたいと思い、展示場巡りからはじめました。工房信州の家が気に入って、プランニングからお見積りまでご提案いただいたのですが、資金の不安がぬぐい切れずに一度は諦めました…。



奥様 そのあと他社さんとも打合せを進めたのですが、予算を抑えたいと伝えると、私たちの希望したことが否定され・諦めさせられる…と感じる提案内容でした。工房信州の家では希望をよく聞き受けとめてくれ、予算内で実現できる方法を考えて提案してくれました。スタッフ皆さんの対応の丁寧さと、ワクワクするような打合せが決め手で、お願いすることを決めました。



お住まい心地はいかがですか？



ご主人 以前はアパート住まいでしたが、広い庭のある今の家に引っ越してからは娘がのびのび過ごしています。土間サロンやウッドデッキからすぐ外に出ては、一緒に花を植えたり。活発になってきた娘のために、DIYで鉄棒もつくりました！



奥様 お手伝いもよくしてくれるようになりましたね。工事中から家づくりに参加できることが多くて、選木ツアーや塗り壁体験にはじまり、ステンドグラスを手作りしたり、土間にシーグラスを埋め込んだり。家族みんなで手をかけて家づくりができた、という思い出はとても良い経験になったと思います。ありがとうございました。



土間サロンから見た室内。無駄な間仕切りのない広がり間取りと、三面採光の大きな吹抜けで、伸びやかな空間に。



キッチンは大石ワークトップの奥行きを広げ、リビング側からカウンターとして使えて便利。お気に入りの陶器のランブシェードは、阿智村のカタチ製作所の作品。



リビングの一角に設けた三畳のタミココーナーは、お子さんのあそび場やお昼寝にもぴったり。



建設地／上田市 営業／平井政人
竣 工／2018年9月 プランナー／片桐寿美
敷地面積／105.87坪 コーディネーター／柳澤悠子
延床面積／24.65坪 設 計／福島明香



Coppa's Home Visit 119

大正ロマン薫る家

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.119



Y様ご家族／
ご夫婦2人住まい



家づくりのきっかけを
教えてください！



インテリアや暮らしぶりがとても
素敵ですね！こだわりは？



奥様 5年ほど前、長野市の住宅展示場を母と見学したのが最初です。展示場の垂れ幕に大きく書かれた「土間サロン」の文字が衝撃的で、当時は家づくりの計画はなかったのですが、ふらりと立ち寄りしました。その頃から「いつか家を建てるなら土間が欲しい」と思っていましたね。

その後、見学した展示場の会社名も忘れていた頃、いつもの通勤ルート沿いに気になる新築現場が現れて。外観デザインとエントツが可愛い家だなあと毎日眺めていました。その家が竣工を迎えて、完成内覧会のイベント情報を見つけたので見学に行ったところ、5年前に見学した土間サロンの家だ！と記憶が繋がって。縁を感じましたね。



奥様 コーディネート打合せでは「大正ロマン・昭和ロマン」のようなイメージをお伝えしました。アンティークな和食器が好きで集めており、深い色合いの食器棚を置くことを決めていたので、これに似合う杉板張りの天井や、縦格子やガラス戸のデザイン、真鍮やアンティーク調の照明など、どこか懐かしさを感じる和のテイストを取り入れていただきました。

キッチンのオープンな棚やマガジンラックなど、具体的に取り入れたいアイデアはInstagramで見つけて共有しました。



ご主人 私は土間サロンの横にマッサージチェア置き場を設けてもらいました。風と光を感じてくつろげる気持ちいい空間です。



お住まい心地はいかがですか？



ご主人 料理をすることが多いのですが、L字キッチンの使い勝手はバツグンですね。全体に手が届きやすいので効率よく作業ができるし、背面から水回りにもすぐに行けて家事動線もとても良いです。ダイニングはあえてカウンターでコンパクトにまとめたスタイルなので、配膳するのも楽です。



奥様 住み始めてからは、エアブランツやドライフラワーなど、好きなもので部屋を彩ることをおもいきり楽しんでいます。もともとインテリアに興味はありましたが、アパート時代はファブリックなど限られたことしかできなかったの。マイホームをもつことで、暮らしの幅が広がりました。



落ち着いた板張りの天井と、南東の光をたっぷり浴びる開放的な吹き抜けとのコントラストが楽しめるリビング。



階段下に設けたカウンター。コンパクトながら収納たっぷりです。北窓のやさしい光が読書にもぴったり。



L字キッチンの背面の引き戸を開けると、脱衣室につながる。家事がラクラクはかどる、機能的な動線。



建設地／上田市
竣工／2019年4月
敷地面積／65.00坪
延床面積／28.52坪

営業／後町勇貴
プランナー／酒井千織
コーディネーター／柳澤悠子
施工／平澤雄太

ペットと楽しむ 斜め土間の家

家族のリビングと土間サロンが斜めに交差し、溶け合うような大空間。
「広がり間取り」のプランニングの工房信州の家のなかでも 特に
そのつながりの濃さが印象的なA様邸を訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.115



A様ご家族／ ご夫婦、
息子さん、娘さん、愛犬



お建替えのご計画、新居の
こだわりを教えてください！



ご主人 祖母から譲り受けた住宅でしたが寒さと水周りの故障が気になり、リフォームするよりも建替えを考えようと思ったのがきっかけです。大きな家だったのですがほとんど一階だけで生活していて、掃除も大変なので、当初は平屋がいいなと思っていました。



奥様 それから、愛犬の居場所も大切に考えました。ウッドデッキや土間とのつながりが深く、愛犬や庭のある暮らしを存分に楽しめる、開放的な空間が希望でした。会社選びはハウスメーカーから地元工務店まで何社か回ったのですが、何か決め手に欠けて。そんなとき、友人から工房信州の家の諏訪展示場を勧められたんです。



ご主人 初めて見学してから二週間で業務依頼(仮契約)というスピードで気持ちが固められたくらい、しっくりきましたね。大手メーカーでは「暮らしを楽しむ」要素はなかなか見出せなかったり、小さな工務店では対応のルーズさが気になったりしましたが、工房信州の家は理想のイメージにぴったりでした。私たちの要望をよく理解してくれて、安心してお任せできました。



暮らしぶりを教えてください！



奥様 新しい家に住んでから、ものを買うときの選び方が変わったなと思います。前はあまりこだわらずに買い物をしていたが、今はお気に入りの空間を良いものだけで彩りたいと感じます。収納も適材適所にたっぷりあって見せたくないものは隠せるので、コーディネートを楽しめます。



ご主人 私は料理が好きなので、キッチンにこだわりました。インテリアにも馴染む木製キッチンみんなで囲めるアイランド型で、アクセントウォールの飾り棚に気に入った食器やお酒を並べて。タイル貼りの床は手入れもしやすく機能性もバッチリ。当初薪ストーブは予定していませんでしたが、ピザやパンを焼いたりドライフルーツなど色々な料理に挑戦できてとても楽しい。薪で湧かしただけの白湯ですら甘みがあって美味しく感じます(笑)



奥様 日常に楽しみがたくさん生まれて、家族で家にいる時間が増えたことが大きな変化かもしれませんね。薪ストーブを眺めてゆったりした時間を過ごしたり、近所で拾った枝や木の実でリース作りをしたり…これからも家族の時間をこの家で楽しみたいと思います。



住まいの中心に位置する、こだわりのキッチン。「見せる」と「隠す」のメリハリの利いた収納計画で、お気に入りのものだけに囲まれた空間にできる。



階段下を有効利用した一人ぶんの書斎コーナーは、家族の近くで作業ができて便利。薪ストーブはmorso(モルソー)。



愛犬の居場所になる土間サロンは、リビングとの高低差が少ないから気軽に触れ合える。大きな窓の向こうにはウッドデッキが広がり、外との出入りも自在。



建設地／塩尻市	営業／船田亜美
竣工／2019年9月	プランナー／鴨井竜也
敷地面積／158.61坪	コーディネーター／奥村瑠美
延床面積／33.06坪	施工／林 正義

パノラマの家

信州の風景を一望できるロケーションと、それを見晴らす大きな窓、家族や仲間のにぎやかに囲むカウンターキッチン、好きな音楽や本やヨガに没頭できる広がりの中取り。長野市の高台になつ素敵なお住まいを訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.114



M様ご家族／
ご夫婦、息子さん、娘さん



家づくりのきっかけと
工房信州の家との出会いは？



とってもお洒落なお住まい！
お打合せの様子を教えてください。



奥様 夫婦ともに出身は県外なのですが、山が好きで信州への移住を決めました。土地は長野らしい自然を感じられる環境で、市街地であっても四方を建物に囲まれている抜けのある場所が理想でした。



ご主人 工房信州の家は、土地探しから相談できるのが良かったですね。ただ、建物は予算に合わないかなと正直思ったのですが、コンパクトな坪数の長野若里モデルハウスを見学して、これならと期待が持てました。リビングと一体の土間サロンと薪ストーブ、造り付けのゆったりとしたソファ、アイアンやタイルの質感の高いインテリアなど、床面積に関わらず豊かな空間づくりができそうだとピンとききました。



ご主人 SNSで見つけたアイデアなど断片的なイメージは色々とありましたが、実現は難しいかと思っていました。でもスタッフの皆さんに伝えると希望を汲んだ提案を返してくれて、思った以上に自由に好きなことができるんだなあと。

それと、以前住んでいたアパートのインテリアや家具を参考に好みをよく理解していただいていたので、トータルコーディネートはお任せしていたらいつの間にか自分の好きな家ができていた！という感覚です。



お住まいになっていかがですか。



ご主人 高台の眺望を活かして東に大きく開放したプランニングですが、逆に外から

の人は気にならないので、いつもカーテンを開けて過ごしています。夜景を見ながら飲むビールは最高！友人が集まる機会も増え、カウンターでもソファでも土間サロンでもみんな思い思いにくついています。



奥様 広がり間取りは、住み始めてから本当の良さが分かりました。子供が二階でお昼寝をしたり遊んでいても一階まで気配が伝わるので、別の場所に居ても安心していられます。この家に引っ越してから息子はお出かけしても「早くうちに帰ろう」と言うことが増え、居心地よさを感じているのかなあとと思いますね。



Staff Voice

酒井沙也子

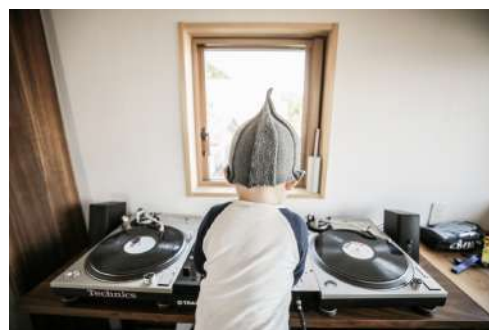
リビング～土間サロンを見渡せるL字のキッチンカウンターや、DJブースから流れる素敵な音楽、どこを切り取ってもM様のセンスと楽しいお人柄が表れています。眺望を活かしたプランにM様のこだわりが重なって、とても素敵な家になりました。



パノラマビューを存分に楽しめるよう、東には最大寸法の窓を設けた。吹抜けとも相まって、開放感たっぷり。



吹抜けに面した二階の共有スペースには、大容量の本棚が。家族みんなの図書コーナーに。



オープンな書斎スペースは、DJブースに！躯体に埋め込んだ真空管アンプを通して、家じゅうで音楽を楽しめます。

建設地／長野市
竣 工／2019年4月
敷地面積／63.06坪
延床面積／30.36坪

営 業／岡澤良充
プランナー／酒井千織
コーディネーター／酒井沙也子
施 工／脇坂奈緒

URBAN JAPANESE

街なかで豊かに暮らす

松本市の住宅街に居ることを忘れてしまいそうな、伸びやかな空間。
心やすらぐ無垢の木や和の素材を取り入れながらも、
スマートで洗練されたデザイン。
アーバンスタイルな信州の家を訪ねました。

Coppa's Home Visit 113

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.113



H様ご家族／
ご夫婦、娘さんの3人家族



家づくりのきっかけを
教えてください！



ご主人 以前は大阪に住んでおり、ゆくゆくは地元の長野県に戻ろうと考えていました。土地探しはエリアを絞り込みすぎず、茅野・伊那・塩尻・松本と中南信の広範囲で住環境を見比べながら検討しました。遠方に住みながらの土地探しでしたが、早い段階で信頼できる工務店さんに出会えたので、情報をいただいたり相談しながら進められました。



奥様 土地ツアーでご紹介いただいた土地を見て、そこでの暮らしを想像する中で、私たちが何を大切に暮らしたいかも徐々に明確になりました。地域密着の工務店らしく、その地区の地域性やご近所の様子まで教えてくれたのが有難かったですね。



工房信州の家の決め手は？



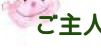
ご主人 大阪でもハウスメーカーを見学しましたが、全国展開の住宅は外部と隔離して室内環境を整える考え方なのに対し、工房信州の家は自然環境を上手に活かす設計である点にとても共感しました。薪ストーブのある空間づくりも得意そうでしたし、せっかく気持ちのいい信州に暮らすのだから、それを楽める家になりたいと。県内全域で展開している規模感もよかったですね。



奥様 木のぬくもりもある雰囲気や、和の家だけれど和風すぎないデザインも好みました。土地探しから熱心に情報をくださる営業の赤沼さんや、私たちの好みを理解してピッタリの提案をくれるコーディネーターの山岸さんなど、スタッフへの信頼も大きかったです。



プランのこだわりは？



ご主人 建物のファサード。建物一体型のカーポートや石積みのアプローチ、植栽、門柱にもこだわりました。それと量でくつろげ収納力のある書斎も気に入っています。



奥様 見せたい小物と、隠したい雑多な物が明確にあったので、収納計画はこだわりました。キッチンで調理家電を目隠しするブラックガラスの引き戸など、全体的に格好良いコーディネートにまとめていただきました。



Staff Voice

赤沼悟史

エリア選定からの土地探しで、その地域の市場調査に力を入れました。お子さんの教育環境や、商業施設の利便性、薪ストーブライフを楽しめるか等、H様が望む暮らしにぴったりの土地に出会えました。



階段と絡めた北の土間サロンに、憧れの薪ストーブを据えた。家の中心に位置し、暖房効率もバツグン。リビングの壁は一面だけ京壁にし、空間のアクセントに。



造り付けのカウンターとたっぷりの可動棚、床は畳敷き。二畳分のご主人書斎は、落ち着いて籠れる充実のスペース。



二階の手すりは、開放感あるオリジナルデザイン。ピアノのある共有スペースの奥は収納室だが、上部をオープンにすることで視線に抜けが生まれる。

建設地／松本市	営業／赤沼悟史
竣工／2018年12月	プランナー／小川貴司
敷地面積／73.74坪	コーディネーター／山岸有美子
延床面積／36.32坪	施工／林正義



しあわせ信州ライフ



ご夫婦ともに東京で生まれ育ったD様が、信州に家建てることを決めたときそのメインテーマは「信州らしく暮らせる家」だったそう。風と光を感じて、子どもたちがのびのびと過ごせる、そんな信州での毎日が何より幸せだと話すD様のお宅を訪ねます。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.112



D様ご家族／ご夫婦、娘さん、息子さんの4人家族



どんな家に住みたいと思っていましたか？



ご主人 仕事の関係で移住したのですが、せっかく信州に家建てるなら「都会ではできない、信州ならではの家」にしたいと思っていました。地の素材を使って、信州の気候に合った設計で、憧れの薪ストーブも取り入れたいなと。

はじめて展示場を見たとき「思い描いた暮らしができるかも」とワクワクしました！玄関から一歩入った途端に大きく広がる空間がとても心地良かったです。



奥様 東京では戸建であってもお隣が近くてカーテンも開けられなかったり、窓を開け放つこともしないので。広がりのある開放的な空間で、自然の風と光を感じて暮らせるのは信州ならではの良さだなと思いました。

それから、旅行者の宿泊を受け入れる「民泊」をやりたいと思っていたので、人が集まれる家にしたかったですね。二階のゲストルームは畳敷きにしましたが、海外の旅行者の方は「タタミ！ショウジ！」と日本の素材一つ一つを喜んでくれます。



ご家族の暮らしは？



奥様 子どもたちがのびのび過ごす様子が、東京で子ども時代を送った私たちと違いすぎて羨ましい(笑)。二人とも土間サロンが大好きで、おやつも工作も「土間！土間！」と催促するし、汚しても良いから私も「ダメ」を言うことが減りました。飽きたらそのままウッドデッキを歩いて外に出て、家の中から目が届くので安心。走りまわったり木の実を集めておままごとをしたり、おもちゃが無くて楽しそう！



ご主人 この夏は家庭菜園にもチャレンジ。先日は芝刈り機も買ったり、庭はまだまだ構想を膨らませているところで楽しみです。友人たちとバーベキューも良いですが、家の中でも居場所がたくさんあるので大人数のホームパーティーも楽しめています。



奥様 遊びに来た地元の友人に「QOL※がすごく上がったね！」と言われました。信州に暮らす豊かさは、外から来たからこそ、信州生まれの方よりもっと幸せに感じられているのかもしれない。

※QOLとは「クオリティ・オブ・ライフ＝生活の質」のこと



Staff Voice

西川恵理也

初めて担当したお客様だったこともあり、とにかく真摯な対応を心掛けました。ご契約直前の夜中に二時間、漠然としたご不安を電話で話し込んだことも良い思い出。楽しんでお住まい頂き嬉しいです！



フルオープンな3畳の土間サロンには、夏場は畳を敷いて地べたに座る。大きな吹抜けが広がり、ウッドデッキにもつながる伸びやかさが、子どもたちにも気持ち良いのかも。



木の質感ある造作家具と、組子の細い障子、収納扉はカラシ色の和紙。和のテクスチャーをお洒落に取り入れた空間。



二階の共有スペースは、造り付けのカウンターと大きな本棚を設けた。お気に入りの小物で彩るのも楽しい。



建設地／松本市	営業／西川恵理也
竣工／2018年4月	プランナー／小川貴司
敷地面積／62.88坪	コーディネーター／松岡純子
延床面積／38.00坪	施工／林正義

晴耕雨読の家



転勤で全国20都市に暮らした経験をもつH様ご夫婦。
日本中のさまざまな地域を見た中で、退職後の終の棲家を選んだのは、
その景色の美しさに魅了された信州の地と、風土に親しむ信州の木の家でした。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.111



平屋のように高さを抑えた、優しい佇まいの外観。ご主人がコツコツ
整えてきた丸太杭と芝桜の傾斜面が、街並みの彩りになる。



H様ご家族／ご夫婦2人



終の棲家に、この土地とこの家を選んだ理由を教えてください！



奥様 全国転勤に加えて、旅行も好きなので、本当に日本中たくさんの町を見て、老後はどこに住もうかと話していました。私の転勤が縁で長野市にきたのですが、北信のなかでも飯綱の美しい景色が気に入り、この土地に移住することを決めました。



ご主人 工房信州の家との出会いは、古書店で小澤社長の本を見つけたこと。信州の木・エアバスソーラー工法・広がり間取りなど、コンセプトすべてに共感してお願いすることを決めました。当初はログハウスもいいなと思っていましたが、それ以上に木の家に住まう喜びを感じられる家だと思っています。特に選木ツアーは感動的で、選んだ柱は家族のように愛着がありますね。



この春早期退職されたそうですね。今の暮らしぶりはいかがですか。



奥様 私はこの家での第二の人生を早く始めたくて早期退職を決めたと言っても過言でないくらい、人生を変えた家です(笑) いつも食事は土間でとるのですが、畑から野菜をとってきてそのまま朝食にしたり、フレッシュなハーブティーを楽しんだり。まさに「家に居ながらグランピング」という感じで、とても心豊かな毎日です。



ご主人 住み心地も想像以上！夏はエアバス効果と風通しでエアコン要らず、冬も晴れた日の日中は無暖房で過ごせます。体感としては、夏も冬も外と10℃違いますね。毎朝の庭と畑の水やりが恒例ですが、信州の爽やかな空気に触れながらの日課は何ともいえず気持ちが良いものです。

庭仕事をやるのは主に朝と夕方で、日中は室内で趣味を楽しむことが多いですね。六十の手習いで始めたクラフトバンド編みにハマっており、土間で庭を眺めながら作業するのが至福の時間です。



奥様 私はハワイアンキルトが趣味で、出来上がった作品で住まいが少しずつ彩られていくのが楽しく、やりがいがあります。ご近所さんにも良くしていただいて、色々なものをおすそ分けして頂いたり、地域の伝統行事を体験させてもらったり、新しい体験の連続で田舎暮らしを満喫しています。



Staff Voice

脇坂奈緒

建て方のお手伝い等、毎日のように工事に関わっていただいて「ひとてま工房ならぬ、多手間工房だね」と言うほどご参加いただきました。その後の家育ても益々楽しんでおられ、とても嬉しいです。



広々とした庭はすべてが手づくり！敷地から掘り起こした石は敷石に利用し、畑に花壇に薪小屋にと日々進化を続けている。ご近所さんからの評判も庭仕事の励みだそう。



一部を板張りにし、ベンチのように使える土間サロン。大きな開口部と天窓で、光と風に満ちる居心地の良い空間。



二階は斜天井の吹抜けにつながり、オープンながらも落ち着いた空間。多孔質な珪藻土の吸音効果で、ご主人が奏でるサクソの音色がクリアに響く。

建設地／上水内郡飯綱町

竣 工／2017年8月

敷地面積／167.34坪

延床面積／39.49坪

プランナー／片桐寿美

コーディネーター／柳澤悠子

施 工／脇坂奈緒

仲間と 道具と 暮らす セカンドハウス

平日は東京で仕事に励み、休日は信州の大自然でアクティブに楽しむ。
信州に通いつめて20年余り、退職後は信州に移住したいと話すK様夫妻の、
念願の「信州ベースの家」を訪ねました。



コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.110



K様ご家族／ ご夫婦2人



信州に第二の住まいを持とうと
考えたきっかけは？



ご主人 結婚した当初から、週末のたびに
信州を訪れて山登りやスキーを楽しむ生活
を続けてきて、大好きな信州にいつか拠点
を持つことが長年の夢でした。



奥様 4年ほど前、まずは長野駅近くに
アパートを借りて、購入物件探しを始めま
した。当初は中古住宅のリノベーションを
考え、新築は構想に無かったのですが、ふ
と立ち寄った長野若里モデルハウスを見て
考えが一変！「この家を建てよう、土地を
探さなきゃ」と、夫婦で即決でしたね。



ご主人 スキー板のワックスがけやアウト
ドア道具の手入れには土間が良いと思って
いたので、土間の参考に見に行きましたが、

土間とリビングひとつながりの空間に一目
惚れでした。集いづろぐ場と作業する場
を別々に分けるのではなく、仲間が集まり
呑みながら、その傍らに道具がある。求め
ていた家はこれだ、と思いました。



エリア選定から土地を吟味し、
小布施に居を構えていかがですか。



奥様 土地を探す場所は、田舎暮らしの
イメージがある飯綱・飯山あたりが第一候
補でしたが、冬は「一週間留守にしたら家
が雪で埋まる」と聞いて断念…。
今の小布施の土地は、緑豊かな環境であり
ながら、駅近で利便性が良く買い物や外食
もしやすい。土地を見学に来たとき、ご近
所さんと話ができて「このへんは移住の方
が多い、待ってるからね」と言って頂いた
ことも大きな安心材料でした。



ご主人 完成した住まいも大満足、120点
です。エアバス工法は正直効果が未知数で
したが、週末に帰ってくると、冬はほのか
にあたたかく、夏も外より5℃ほど低い。
平日冷暖房なく締め切っている分、その効
果がよく分かり嬉しい驚きです。
家を建ててからは心にゆとりができて、信
州を2倍楽しめるようになりました。朝起
きたとき、荷支度をするとき、何気ない時
間を信州の景色を眺めて過ごすのはとても
贅沢。信州好きの仲間たちも気兼ねなく呼
べて、ベット連れの仲間も喜んでいます。
自慢したくなる住まいができました。



Staff Voice

柳澤悠子

アクティブなK様ご夫婦のライフスタイルと、長野若里モデルハウスの要素が組み合わさって、今までにない素敵な家になりました。



寝室と吹抜けをつなぐ3枚引きの障子戸で、開放感がぐんと増す。バルコニーの柵は視界を遮らないデザインで、北信五岳の借景を存分に味わえる。



土間サロンとフラットにつながる大きなウッドデッキで、外にひらく暮らしが一層豊かに。グリーンシーズンはタープで木陰をつくって過ごすのが定番だそう。



造作のバスルームと洗面脱衣室。大ぶりのホワイトタイルは、デザイン性とメンテナンス性を両立する。



建設地／上高井郡小布施町

竣 工／2018年5月

敷地面積／150.72坪

延床面積／32.48坪

プランナー／片桐寿美

コーディネーター／柳澤悠子

施 工／平澤雄太

食でつながる スパイスキッチン

選びたいのは、使い込むほどに味わいを増すヴィンテージもの。
得意料理は、スパイスから調合する一期一会のカレー。
そんなこだわり派の若夫婦が建てた、経年変化とオリジナリティを楽しむ自然素材の家。
自慢のキッチンでふるまう手料理に仲間が集まる、M様邸を訪ねます。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.109



M様ご家族／ご夫婦 2人

家づくりのストーリーは？

奥様 20代半ばで結婚した当初から、マイホームを建てる考えを2人とも持っていました。同じように月々支払うのなら、アパートよりも持ち家にお金をかけたいと。

ご主人 “無垢の床”を第一条件に、住宅公園を巡りました。新築の家を見学すると、本物の木の純粋な匂いか、新建材のイヤな臭いか、はっきり分かりましたね。素材感が好みのビルダー数社のなかで、工房信州の家の決め手は企業とスタッフへの信頼です。アフターメンテナンスの体制が整っていて住んだ後も安心なことと、資金不安に対して明確なマネープランを示してくれたこと。完成宅だけでなくOBのリアルな声を知りたかったので、同世代の入居宅を案内してくれたことも安心材料でした。

広々と人が集う家になりましたね！

ご主人 料理が好きで、家族や友人を招くことも好きなので、テーマは“食でつながる”でした。早速ホームパーティーを開いて大人10人と子どもたちが集まりましたが、オープンなキッチンとつながる開放的な空間で賑やかに楽しめました。仲間からは「木の匂いがいい！」と好評でした。延床30坪でも広がり間取りだから本当に広さを感じます。築70年ほど経つ実家が昔ながらの田の字間取りで、つながりのある空間で育ったので、とても居心地が良いです。

奥様 土間サロンも段差のない設計なので、さらに広々。冬には薪ストーブ前の床から土間にまたがって寝転んでくつろぐのが定位置でした(笑)。これからの季節はブラットなウッドデッキも活躍しよう！



暮らしぶりを教えてください！



奥様 アパート時代は、休日は“出かけなきゃ”という気持ちに急かされていたのですが、この冬は「家であってまっていよう」が週末の合言葉！家で過ごす時間がとても充実して、長くなりましたね。



ご主人 北欧インテリアやキッチンツールが映える空間なので、季節に合わせてレイアウトを変えて楽しんでいます。小物でも使い込むほどに我が家のオリジナルになり価値が増すようなものを大切にしたいので、まさにそんな家になり嬉しいです。



Staff Voice

岡澤良充

何気ない雑談から、“料理”“アウトドア”などのキーワードが挙がり、M様が大切にされる暮らしのポイントが見つかったので、迷いのない提案ができました！



ダイニングに3灯並べたゴールデンベルは、建築家アルヴァ・アアルトがレストランのためにデザインしたもの。無塗装の真鍮は年月を重ねて酸化し、その風合いを深めていく。



デザイン性の高い造作洗面台は、ランタン型のモザイクタイルでアンティークな装いに。ブルーグレーは家全体のテーマカラー。



階段上り口にある書斎コーナーは、北窓の明るさが心地よい。空間のアクセントにもなる縦格子の目隠しで、北欧インテリアに和のテイストをプラス。



印象的なムササビランプは、KIYATAの手彫りの木工作品。高崎市の販売会まで足を延ばした、奥様こだわりの一品！

建設地／須坂市	営業／岡澤良充
竣工／2019年1月	プランナー／片桐寿美
敷地面積／65.32坪	コーディネーター／織部聖奈
延床面積／30.42坪	施工／脇坂奈緒



土間リビングに憩う家

Coppa's Home Visit 108



子育てを終え、夫婦二人暮らしのための住まい。けれど、想像以上に人が集まり、暮らしの楽しみが広がる家になりました。ご夫婦の人柄を表すかのように懐の深い土間サロンが印象的なお住まいを訪ねます。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.108



F様ご家族／
ご夫婦、娘さん、息子さん



家づくりのきっかけを教えてください！



奥様 長くアパート暮らしをしていましたが、転勤や子どもの学校の問題で家づくりは先送りしていました。末っ子が進学で巣立ち、夫婦二人暮らしになったのがきっかけで、新居を建てることを本格的に考え始めました。



ご主人 まずは飯田の住宅公園をフラフラと見ましたが、どこも豪華で住むイメージは湧かず…。ピンと来たのは、HPでつけた工房信州の家の土間サロン。半屋外が楽しそうだなあと。土間と無垢の木もよく似合って、和風過ぎないのも良かったです。はじめての家づくりは漠然と不安でしたが、工房信州の家は最初からコミコミの単価を教えてください、安心して進められました。



奥様 打合せ中は毎日夫婦で話をして、アパートにビニールテープを張って広さを確かめたり、楽しかったですね。独立した子どもたちに家を建てると話したら、じゃあ一緒に住んでやるよと戻ってきたのは予想外でしたが(笑)。おかげで私たちの寝室は和室になりましたが、目が覚めてリビングに目をやると「ここは展示場？」と思うほど素敵で、毎朝嬉しいます。



お住まいになっていかがですか？



ご主人 まず、冬あたたかいのは幸せを感じますね。吹抜けと階段で暖かさがうまく循環して、家じゅうスリッパいらず。夏は風通しもバツグンで気持ちが良いです。念願の土間は作業も気兼ねなくできるし、人が集まるときにも広がりを持てます。夏はビアガーデンとして涼むのも最高ですよ。



奥様 私はお風呂上りに薪ストーブ前で顔バクしながらまどろむ時間が至福。脳みそが溶けそうなほど心地よいですよ(笑)。薪ストーブを工夫しながら焚くのも楽しくて、温度計を二つ置いて研究中。この冬は朝も17℃を下回ることなく過ごせました。



ご主人 薪は、近くの山の間伐がてら作って、今シーズンは立木30本ほど伐りました。近所の人も連携ができて有難いですね。



奥様 薪づくりで山に行くときはドリッブコーヒーやおやつを持参して、アウトドアを楽しむ気分で行くのが良いです。山で淹れるコーヒーは本当に美味しいですよ。



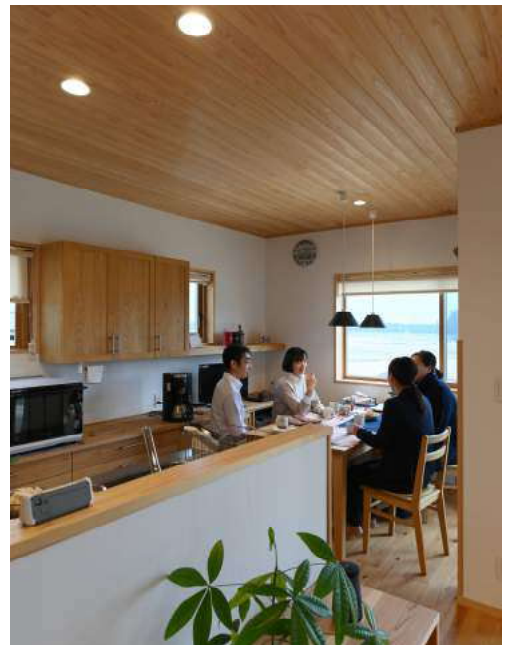
ご主人 自分で家に手をかけることが楽しくて、薪置き場や薪割りの土台を作ったり、物干しを作ったり。今後は棚も作りたいし、まだまだやりたいことがたくさんあって、これからの暮らしが楽しみです。



Staff Voice

瀧本風子

毎回、お腹がよじれるくらい笑いながら打合せをしました。完成したお住まいも笑顔あふれるF様を表した素敵なお宅です！



板張り天井が素敵なキッチンダイニング、作業動線もバツグン。



二階のオープンな書斎コーナー。里山を眺める開放的な空間。



オープンな土間サロンは和室ともつながり、どんなシーンでも広々使える。

建設地／中川村
竣工／2018年4月
延床面積／32.05坪
営業／瀧本風子
プランナー／小川貴司
コーディネーター／奥村瑠美
施工／赤羽和樹



設計士が建てた、 はぐくみの家

以前より「工房信州の家って良いな」と思われていたKさん、
縁あって現在はフォレストの設計士をされています。
4人の子どもたちがのびのび過ごす空間を支えるのは
おじいちゃんの山で育った木。
「はぐくむ」がキーワードの家づくりです。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.107



片流れ屋根のシルエットとダークブラウンの外壁ですっきりした佇まい。



K様ご家族／ご夫婦、
お子さん4人の6人家族

※お兄ちゃんとお姉ちゃんは不在でした



フォレストの設計士でもある奥様。
住まいのコンセプトを教えてください！



奥様 家族みんなが集まる一階はワンスペースで広々と、でも段差をつくって気軽に腰かけたり、それぞれに心地よい居場所ができるように工夫しました。子どもがいてもすっきりとした空間を目指し、収納計画とディテールにもこだわりました。



ご主人 細かな設計は妻におまかせでしたが、私が希望したのは薪ストーブを家の中心にドンと置くこと。それと家の中ではオープンに暮らしたかったので、壁面を斜めにしたり、窓の大きさや位置を調整したりと、外からの目線に配慮しました。私の書斎コーナーもつくりましたが、ゆっくり活用できるのはこれから。庭も室内も、やりたいことがたくさんあり楽しみです。



道路からの視線を巧みにコントロールしたことで、眺望を気兼ねなく楽しめる南窓。ふかし腰壁に座ってくついても良い。



主寝室にもワイドな開口を設け、家じゅうからアルプスの眺望を楽しめる。



工事中やお住まいになってからのエピソードを教えてください！



ご主人 祖父の山の木を柱や梁にしてもらい、私の代では無理かとあきらめていた夢を皆さんの力で叶えることができました。厳かな伐採式をして、伐った木の年輪を数えると樹齢80年。木って重いなあと、家を建てる重みを実感しました。世代を超えた家づくりは子供たちにとっても貴重な経験になりました。



奥様 着工式も心に残っています。職人さん一人一人と握手を交わし私たちの家づくりへの思いがバトンタッチされ、皆さんと顔を合わせて安心してお任せできました。



ご主人 これからは、無垢の木の味わいが深まっていくことを楽しみにしています。季節によって変化があったり傷もつく素材ですが、手当てをしながら見守ることは自然素材の家ならではの「はぐくむ」感覚があります。材料から職人さんまでとても身近に感じた家づくり。山、木、そしてこの家を、今度は私たち家族が大切に育てていこうと思います。



子ども部屋は、建具をはさんで男子部屋と女子部屋に二分できる。壁と天井は板張りでわんぱく盛りに対応。



東の高窓から朝日が差し込む大きな吹抜け。物干しバーを設けた家事ラク空間。クリアの三枚扉の向こうには玄関が。



ダイニングは子供たちのスタディスペースにも。壁際の造作棚は、学校教室ロッカーのイメージ。

建設地／駒ヶ根市
竣工／2017年9月
敷地面積／69.04坪
延床面積／35.23坪



古びの美が宿る家

Coppa's Home Visit 106

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.106



S様ご家族／
ご夫婦、娘さんの3人家族



家づくりのこだわりを
教えて下さい。



ご主人 工房信州の家の決め手は、本物の自然素材と飽きのこないデザインです。伊那の展示場を見学したとき、経年変化した木の質感が素敵だなと思い、自分たちが歳を重ねながら、家の自然素材も深みが出てくると感じました。



奥様 普段から、真鍮や麻など、素材感が良く味わいが増していくものをセレクトしています。家づくりでも、経年変化を楽しみ、素材を育てる、がテーマでした。いろんな作家さんの作品やストーリーのあるような古いものが好きで集めていたので、そのものが似合うキャンパスのような家にしたかったですね。余計なものは見せないすっきりとしたデザインを希望しました。



ご主人 もうひとつのテーマは、眺望を活かした空間づくり。北アルプスの眺めが気に入って選んだ土地で、西側にはFIX窓(はめ殺し窓)を多く用いました。特に、二階の展望サロンは一間幅のワイドなFIX窓からアルプスの山並みを一望できる特等席で、いちばん好きな空間です。



奥様 私はキッチンダイニングやリビングのソファで過ごすのが好きですね。デザインや眺めにもこだわりましたが、作業動線が良く機能的であることもポイントでした。毎日を過ごす家だから、デザインばかりでなく暮らしやすさを両立できたことが良かったです。



Staff Voice

織部聖奈

シンプルながらも細部にこだわり、洗練された空間をイメージしながら打合せをさせて頂きました。素材・質感・色・部材・バランス。繊細な部分にまでS様のこだわりが感じられます。シンプルでシャープな空間の中に各地の作家さんや職人さんがハンドメイドで造った家具や小物類が絶妙な雰囲気を作り上げていて、まるでS様邸そのものが小さなアトリエのようです。



建設地／安曇野市
竣 工／2018年11月
敷地面積／93.07坪
延床面積／29.05坪
営 業／後町勇貴
プランナー／小川貴司
コーディネーター／織部聖奈
施 工／木南宏介



二つの暮らしが映える 二世帯住宅

表紙の北欧風キッチンダイニングと、こちらの和の畳リビング。
「別々の家？」と思われた方……実は、一軒の二世帯住宅なのです。
二世帯で暮らすからといって、我慢をしたりするわけではなく
お互いを尊重し合いながら自分らしく暮らせるK様邸。
自由設計だからこそ実現できる理想の二世帯住宅を訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.104



お父様が大切に手入れされてきた庭木によく似合う、大屋根の外観。中央の玄関を介して、左の平屋部分が親世帯、右の二階建てが若世帯。



K様ご家族／ご両親、
息子さんご夫婦、
御祖母様の5人家族



旧家を建て替えての二世帯住宅。
エピソードを教えてください！



お母様 工房信州の家を建てた知人がいたこともあり、建てるなら木の家、木の家なら工房信州の家かなあとなんとも思っていました。はじめは私が娘と展示場に行き、一目見て気に入りました！



お父様 そのあと私も展示場に連れて行かれたのですが、入った瞬間に「これなら建替えても良いな」と思いました。松本展示場の、木の重厚な質感が気に入りました。設計打合せでは、私たちの居間は斜天井で梁組みが表に見えるプランをご提案いただき、木組みを楽しめます。90才になる母は建て替えることに寂しさもあったでしょうが、古い欄間やケヤキのテーブルなどを再利用したことで旧家の名残を感じられます。



ご主人 結婚当初のバタバタが落ち着いたタイミングで、私たちも展示場に行きました。最初に見学したのは諏訪展示場。通り土間を中心に程よくつながる二世帯の在り方はとても参考になりましたし、すっきりと明るいインテリアも好みでした。松本と諏訪とでテイストの違う二棟を見学し、同じ木の家でも好みに合わせてまったく違うデザインができるんだと思いました。



奥様 打ち合わせでは家族みんながそれぞれのこだわりを要望できるよう、スタッフの皆さんがとても気を配ってくださいました。気兼ねせずにコーディネートを進められたことが、今の気兼ねしない暮らしにつながっていると思います。



竣工から一年半。どんなふうにお住まいですか？



お父様 とにかく「あたたかい」の一言に尽きます。朝起きたときも室内は12℃を下回ることはありませんね。天気の良い日は陽の光で十分あたたかいので、日中は薪ストーブをつけないことも多いです。



ご主人 私はこの家に住んでから、DIYを始めました。第一弾は、大きなウッドデッキ。一週間の連休を丸々費やした力作です。玄関前の、タイル敷きのアプローチも自作しました。春になったら、祖母の部屋の前に濡れ縁を作りたいと構想中です。



奥様 生活のリズムが違うので基本的にはそれぞれの世帯ごとに過ごしていますが、手づくり野菜をたくさんいただいたり助けられています。時にはおかずを一品差し入れたり、ごはんをご馳走になることも。互いの生活スタイルを大切にしながら、程よいつながりが心地よいですね。



Staff Voice

船田亜美

人柄の良さがよく表れているK様邸。お互いを思いやりながらのプランニングや、竣工後も家を大切に育てている様子がとても素敵。お引渡しから一年が経っても、たまに無性にお伺いしたくなります…！



両世帯の中心にある通り土間に薪ストーブ。薪づくりや手入れはご両親が担当。家じゅうに広がるぬくもりが嬉しい。



お手製のウッドデッキ。ここで休日のランチを楽しむことも！



若世帯の和室は普段使いに合う、明るい内装デザイン。



若世帯スペースのテーマは「北欧風」。好きな小物を飾れるスペースをたくさん設け、より自分らしい空間へと育てていくのも楽しみ。

建設地／安曇野市
竣工／2017年9月
敷地面積／321.4坪
延床面積／57.79坪
営業／船田亜美
プランナー／三澤かおり
コーディネーター／山岸有美子
施工／山住和志

線と光を デザインする家

建築の良し悪しを決める条件のひとつ、「描くラインの美しさ」。たとえば、窓や棚の上端ラインが水平にまっすぐ揃っていること、接合部の納まりが無駄なくすっきりと見えること。シンプルな空間を、邪魔せずに引き立てる照明計画も大切です。細部まで洗練された美しい家を訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.103



高さを抑えた片流れ屋根のファサード。
ガレージ、玄関、土間まで大きく伸びた下屋が美しい水平ラインを強調する。



S様ご家族／
ご夫婦2人



細部までこだわられた家づくり。
気に入っているポイントは？



ご主人 どこかひとつの空間、ではなく、家全部が好きです。間取り、薪ストーブ、土間サロンなど、最初にやりたいと思ったことがすべて実現できました。とことんこだわりたい性格で、細かな器具や取付位置まですべて自分たちで決めたいと要望して、器具メーカーの分厚いカタログを持参して打合せをしてもらいました。



奥様 決めることが山ほどありましたが、自分たちでとことん悩んで、それを反映してもらえたことが満足感につながったと思います。まだ形の無いものを、言葉で要望を伝えることに大変さを感じたこともありましたが、スタッフの皆さん根気よく耳を傾けてくれて本当に感謝しています。



ご主人 全体に「すっきり」とした空間にしたかったので、照明器具は線が美しいデザインや埋め込みのダウンライト、間接照明を中心に考え、ダイニングや階段吹抜けなど、空間のポイントにはペンダントライトをセレクト。テレビやPCのモニターは壁付けで配線を表に見せないようにしたり、階段下の見えない位置にルンバ置き場を作ったり、いろいろと工夫しました。



奥様 私はブルーグレーの色味で統一したデザインと、家事動線の良さがお気に入り。キッチンを中心に置いた間取りはとても動きやすいです。キッチン前は腰壁にして、見晴らしの良さで手元の目隠しを両立。リビング側からは収納として使えます。



工房信州の家を選ばれた決め手は何でしたか？



ご主人 木の家で薪ストーブがほしい、というイメージはもともとあり、工房信州の家の展示場を見てびったりだと思いました。住宅公園の展示場はたくさん見学しましたが、木の家と言っても他のメーカーさんは重たい、キッチリしすぎ、という印象で。工房信州の家の手づくりのぬくもりや、エアバス工法と自然素材から成る空気感は、他にはない魅力でした。



奥様 それと、案内してくれたスタッフさんが良かったです。たとえば「無垢の木は柔らかな肌触りが魅力ですが、そのぶん傷もつきやすい」等、デメリットも包み隠さず教えてくれました。他社の営業さんは良いことばかりでゴリ押し、という印象が強かったので、逆に信じられるなと思いました。自分たちの思いを託す夢のマイホームづくりなので、信頼して頼れる会社に出会えて良かったです。



Staff Voice

酒井千織

シンプルで美しい家ができました。これから家具が増えたり、お庭ができたりと、より一層S様らしい住まいになっていくのが楽しみです！



薪ストーブはインテリアに馴染む、ドイツ製のアイアン・ドッグ。土間サロンに据えて機能的に。



テーブルに合わせて、窓とカウンターの高さを設計。



二階のPCコーナーは天井高を抑えた落ち着いた空間。



キッチン・ダイニングは板張り天井にし、開放的な吹抜け・リビングとの空間のコントラストを楽しめる。吹抜けの高窓からはキッチン奥まで光が差し込む。

建設地／上田市
竣 工／2018年9月
敷地面積／230.2坪
延床面積／39.28坪
営 業／鴨井竜也
プランナー／酒井千織
コーディネーター／柳澤悠子
施 工／平澤雄太

ヒメイワダレソウのグリーンに覆われた小高い土地に佇むK様邸は、下伊那の町を見晴らす、大きな土間サロンとウッドデッキが主役。アウトドアリビングを楽しむ暮らしにおじゃましました。



南信州を一望する家

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.102



K様ご家族／ご夫婦、娘さん、息子さんの4人家族
※取材日は親戚の皆さんも一緒にした



バツグンのロケーション！
うらやましいです！



土間での暮らしをととても楽し
まれているそうですね。



ご主人 風景の良さを気に入って、この土地の購入を決めました。建物のプランニングでも「日々、絶景」をテーマにご提案いただき、大きな開口から眺望をいつでも望むことができます。それと、フラットに連なる土間サロンとウッドデッキがとても良いですね。リビングともオープンにつながるの、庭や風景まで一体となった感覚で、自然と足が外に向かいます。



奥様 子どもたちもよく庭に出て行って自由に遊んでいますが、大人は室内に居ても目が届くので安心です。前はアパート住まいでしたが、日々成長する子どもたちがのびのび遊べる家にしたかったので、理想通りの暮らしができてうれしいです。



ご主人 実家の近所に、昔ながらの土間がある古い家があって。そこがとても素敵で、自分も家を建てるなら土間を作りたいなあと思っていました。家づくりを考えはじめて伊那の展示場に伺ったら、土間もあるし梁もカッコいいし、理想的な家を見つけた！と思いました。憧れの土間サロンは家のなかでいちばん良い位置に、広めに設計してもらいました。工事中は仕事帰りに何度も見学に行って、土間の仕上がりが待ち遠しかったですね。



奥様 土間はリビングの延長として、朝食の場になることもしょっちゅう。薪ストーブでお湯を沸かしてコーヒーを淹れたり。子どもがこぼしても大丈夫ですね。



ご主人 もともとアウトドアが好きなのですが、毎日がちょっとしたアウトドアのような感覚で楽しんでいます。ご飯を食べたり、庭仕事の休憩をしたり、火で暖まったり、汚れたものを置いたり作業をしたり。汚れることは土間でするので、リビングはいつもキレイに保てています。実家が薪ストーブなので馴染みはありましたが、土間は薪ストーブの置き場としても大正解で使い勝手が良いですよ。冬場も寒さを感じることはありませんでした。



他にも住まい心地はいかがですか。



ご主人 日中とても明るくてびっくり！床が冷たくなならないから年じゅう快適ですし、結露もしません。それから、外との遮音性も高く快適です。ナチュラルをベースに黒で引き締めたコーディネートも統一感があって気に入っています。



Staff Voice

後町勇貴

傾斜のある敷地だったので、造成計画も合わせてプラン提案をしました。建物を北に寄せ過ぎず、あえて駐車場を奥に配置したことで、視界を遮ることなくパノラマビューを楽しめる家になりました。



土間サロンの上は吹抜けで、さらに開放感を演出。中央をつらぬく太鼓梁が印象的。



フラットにつなげた土間サロンとウッドデッキで、ソトとの行き来がもっと自由になる。



絶景の中で食べるソトごはんは美味しい！



建設地／

下伊那郡高森町
峻 工／2017年12月
敷地面積／95.98坪
延床面積／31.05坪
営 業／後町勇貴
プランナー／小川貴司
コーディネーター／奥村瑠美
施 工／山住和志



ダブル土間が結ぶ アウトドアリビング

八ヶ岳の麓に建つ、緑に囲まれたY様の家。
築4年目を迎え、お子さまが十代後半となった今もお、
家族みんなで家で過ごす時間を楽しんでいるそう。
“土間”と“アウトドア”が家族をつなぎ、素敵なお宅を訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.101



Y様ご家族／
ご夫婦、息子さん、
娘さんの4人家族



外から見ても、とても楽しそうに
お住まいなのが分かります！



ご主人 外で過ごすのが気持ち良いシーズンは、庭にタープを張りっぱなしで過ごしているんです。土間やウッドデッキの軒とつながって庭での暮らしがとても身近になり、休日のランチはほとんど外ですね。バーベキューやダッチオーブンを楽しむこともしょっちゅう。屋外リビング・屋外キッチンという感覚で、楽しんでいます。



土間サロンをポイントに
計画されたそうですね！



ご主人 はじめはテレビで紹介されていた「土間サロン」を見て、なんだこれは！と。アウトドアやスポーツが大好きな、わが家の生活スタイルにぴったりだと思いました。

わが家では用途を分けた土間をダブルで作りましたが、これがとても良い。南の土間は、大きなフルオープンサッシを開け放って庭と一体になり、アウトドアリビングを楽しむのに欠かせない場所。北の土間はクローゼットとして趣味のグッズを置いていますが、外との出し入れがしやすくタフに使えて重宝しています。外の暮らしを楽しむのに無くてはならない空間で、もう土間のない生活は考えられません。



ご家族みなさんの反応は
いかがでしょうか。



ご主人 もととは、子どもが生まれる前に私が購入した中古住宅に住んでいたのですが、中学生になった長男が「狭くて友だちも呼べない」と言うので建替えることに。今や、一緒にキャンプをするという年令で

はなくなりましたが、休日の庭作業やアウトドアランチなど、当たり前のように子どもと外で過ごす時間がもてるのは貴重なことです。

それと、家族みんな体を動かすことが好きなので、室内のリビングはトレーニングルームと化していますね。広々としていて気持ちよく汗がかけます。据え付けのプロジェクトと電動スクリーンを設けているので、みんなでバランスボールに座りながらスポーツ観戦することも(笑)



ほかにも建替えてからの変化は？



ご主人 結露がほぼ無くなりましたね！前の家は湿っぽい空気感でしたが、今は空気がとても爽やか。それから標高1150mありますが、冬の朝でも15℃あって快適です。自然の豊かな場所ですが、自然と上手に共存できる住まいになりました。



Staff Voice

小川貴司

スタッフが驚くほど楽しく住みこなしておられるY様ご家族。オーナー様には教えられることばかり。土間とお客様との相乗効果で、これからは想像以上の何かが生まれそうな予感がありました。



室内と庭がつながり、暮らしに遊びが生まれるのは、土間やウッドデッキなどのあいま空間あってこそ。



土間クローゼットには、一家のアウトドア用品がずらり。壁は板張り、フックを設けたりとアレンジも自在。



休日の夜は、大スクリーンで映画鑑賞するのが楽しみ。



建設地／諏訪郡原村
竣工／2015年3月
敷地面積／309.76坪
延床面積／39.60坪
プランナー／小川貴司
コーディネーター／織部聖奈
施工／山住和志



亡き父の面影残る旧家の古材や、この土地に古くからあった石を用いた、思い入れの深いK様の家づくり。
完成から一年経ったお住まいに伺うと、そこには新しい家族の姿が！
この家の快適さを証明してくれるような「ウズラが住む家」を訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.100



母屋の一部を解体し、横並びに新築。落ち着いた外観デザインが周囲の建物や歴史ある庭と調和する。



K様ご家族／ご夫婦、お母様、お子さん3人 ※取材日はご友人もいらっしゃいました
建設地／長野市風間 営業／寺澤周平
竣工／H29年4月 I C／宮下知広
敷地面積／248.59坪 プランナー／片桐寿美
延床面積／35.02坪 施工／平澤雄太



家づくりのきっかけを教えてください！



四季をお住まいになって、いかがですか？



奥様 父が亡くなり母が一人になったこともあり、実家での同居を具体的に考え始めました。ただ、実家の母屋は増築して日が浅かったので、リフォームや敷地内新築などいろいろな案がありましたが…。母屋を一部残して仮住まいや物置としても活用しつつ、隣に皆で住む家を新築する、という計画に落ち着きました。父の思い出が残る母屋や、母が手をかけてきた和の庭にも似合うプランをご提案いただきました。



お母様 母屋にあった床柱や式台を美しく再利用していただいたり、解体した蔵の基礎石を玄関アプローチに組み込んでいただいたり。旧来のものを良いかたちで遺していただけて嬉しいです。



奥様 実は、12月にウズラの卵が孵化したんですよ！暖かい環境を好む動物で冬に生まれることは珍しく、常に25～30℃程の室温が必要なので長生きできないかなあと思っていたのですが、元気にひと冬を超えました！この家の暖かさがよく伝わるエピソードでしょう(笑)
無垢の床も気持ち良くて、子どももウズラも家じゅう元気に飛び回っています。



お母様 とにかく暖かく冬を越せましたよ、それも家じゅうがあったかい。前の家では居間のひと部屋を閉め切って暖房していたので、部屋を移動するときの温度差が嫌でした。洗濯物も乾きが良くて、けいそう土の調湿効果のおかげかもしれません。



ご主人 私は当初、薪ストーブに抵抗感ありましたが、やり始めると楽しいものですね。ご近所からりんごの木をもらい、薪づくりが週末の日課になり、薪棚も自作しました。近所に畑も借りて、都会暮らしでは味わえなかったライフスタイルを楽しんでいます。



担当 平澤雄太

地域との縁を大切にされるK様は、外構もソトに開くプランに。上棟や竣工の各節目にはご近所にお披露目し、皆さんに喜ばれる家づくりができました。

Focus on the Owner!!

以前は埼玉のアパート住まいでペットが飼えずに寂しかったというK様が、新居に招いたのはウズラの卵！幼い頃ニワトリを飼っていた経験もあり親しみがある。臆病な性格だが、雛から育てると飼い主に懐いてくれるそう！



ゆったりとした土間サロンで、外との行き来も自在。



北窓に面した明るい印象のダイニング。階段との境には縦格子を設け、空間仕切りと開放感を両立。



お母様の居室は、長押を設け京壁で仕上げた畳の間。古材を再利用して、建替えの寂しさを喜びに変えた。



ツリーデッキと
土間の家

辰野町の大通りをすこし脇に入れば、そこはもう里山近く。
自宅の庭でキツネやシカを見かけるほど、自然豊かなK様の土地。
この場所にぴったりの、懐の深い土間サロンとデッキが印象的なお住まいを訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.99



K様ご家族／ご夫婦、息子さん、娘さんの4人住まい
建設地／辰野町 営業／平井政人
竣工／H29年9月 I C／奥村瑠美
敷地面積／139.58坪 プランナー／小川貴司
延床面積／38.06坪 施工／林大輔



大きな土間が素敵！
眺めも最高ですね。



他にもこだわりがたくさん詰まった
プランニングですね！



ご主人 町はずれの土地を選んだので、周りに人通りが少なく気兼ねせず開け放てるのがとても良いですね。暗くなっても南のカーテンは閉めずにいることが多く、夜景や高速道路の明かりがキレイに見えます。土間をどんと広く、というのは当初からの要望でした。座敷ともウッドデッキともつなげて、いろんな使い方をしたいなと思うと、この広さでしたね。



奥様 子どもより長い付き合いのネコも、この土間が大のお気に入り。アパート住まいではストレスで毛が抜けましたが、引っ越したらすっかり回復し、ふくよかに健康になりました。土間は、夏はひんやり、冬は薪ストーブでボカボカで心地良いみたい。



ご主人 県内じゅうの展示場をすべて見学して、各展の良いところでプランに反映してもらいました(笑)。特に和風の家が好きだったので、外観デザインや太鼓梁の木組みなどプランナーの方と直接お話ししてまとめていただきました。当初はビルドインガレージなども検討し、予算の関係もあって辞めたのですが、長い目で見て作りこみすぎない設計で正解だったと思います。



奥様 私はキッチンに立った時の開放感がお気に入り。家じゅう見渡せて、正面のピクチャーウィンドウからはデッキの緑がキレイに見えます。たまに平日休みのときは、子供を幼稚園に送り出したあと、土間のチェアでのんびりするるのが至福です(笑)



ご主人 休日もやりたいことがたくさんあって、家で時間が楽しくなりました。アパートの時は週末はヒマで時間つぶしのために出かけていましたが、時間の使い方が変わりましたね。まだまだ家に手をかけたいことがたくさんあるので、これからが楽しみです。



担当 平井政人

土地探しからお手伝いさせて頂いたK様。山の近くの眺めの良いところに大きな土間サロンを作りたい、というご要望が一緒に叶えられました。

Focus on the Owner!!

土間の隣にあるウッドデッキは、コの字の建物と縦格子に囲まれプライベート感があり、脱衣所から直接行き来ができるので夕涼みにも洗濯干しにも絶好の空間。中央に配したシンボルツリーが空間を印象的に演出。



ご主人書斎は、諏訪展示場のようなシックな内装に。天井高を抑えた隠れ部屋風の設計が大人の雰囲気。



長野南展示場でヒントを得た、小上がり畳の寝室。



キッチン背面収納は木製で造り付けた。続きで勉強コーナーも設け、親子がいつも一緒にいられる。





週末はいつも友人たちとのホームパーティでにぎわう、若いご夫婦の家。人が集まる空間を望むH様の思いと共鳴したのは、土間のある家でした。「土間は、“余白”」と受け止める、H様の暮らしを訪ねます。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.98



お住まい心地はいかがでしょう？

奥様

この冬は人生で一番快適でした！薪ストーブは、暖かさはもちろん、アナログな器具ならではの楽しさがあります。思い通りに火が点くと嬉しいし、斧で薪割りをするのも楽しくて、すっかり私がハマりました(笑)



ご主人

お客様が来るといつもリビングで焼き肉やホットプレート料理をしますが、ニオイが残らないのが驚きです。自然素材の消臭効果でしょうか。二人とも、今までは趣味は読書でしたが、この家が出来て日々の過ごし方が変わったと思いますね。



ダイニング脇にはカウンターを設け、多用途に使える。H様お好みの深いアースカラーのタイルがアクセントに。



お持ちの本をたっぷり収納できる、つくりつけの本棚。



和室は四畳半ながらも、吊り押入れが空間に奥行きを生む。床の間として小物を飾れば、暮らしに彩りを添えられる。



担当 山岸有美子

お好きなグリーンやアースカラーをアクセントに使いました。作り込みすぎず、控えめながらも個性が演出できるコーディネートがこだわります！

Focus on the Owner!!

ご主人実家のご両親を大分県から呼び寄せ、隣の敷地に平屋を建てられました。工房信州の家が2棟並び統一感ある佇まいに。「互いのライフスタイルを尊重しつつ、いつでも助け合える距離感がありがたい」とご主人。



シンプルな切妻屋根の外観に、ウッディグリーンの玄関扉が印象的。



H様ご家族／ご夫婦と息子さんの3人住まい
建設地／伊那市 営業／後町勇貴
竣工／H29年7月 I C／山岸有美子
敷地面積／80.00坪 プランナー／小川貴司
延床面積／32.03坪 施工／赤羽和樹



仕切りのないオープンな土間
サロンが印象的です！



ご主人

土間とリビングダイニングのつながりは、見学に行った長野若里モデルハウスがお手本。土間で何かをしようと具体的なイメージがあったわけではありませんが、「余白」のような空間があれば暮らしの幅が広がると感じました。来客が多くても窮屈さがないからたくさん人を呼べるし、多少汚れても目をつぶれる。薪ストーブの時期も重宝する空間でした。



奥様

1才の息子も土間で遊ぶのが大好きで、洗い出し仕上げの土間の小石や薪を熱心に研究しています(笑)。小さい頃は何度か落っこちましたが、ゆっくりおしりから降りたりのぞき込んだりと、自分で学んで加減が分かるようになりましたね。



お打合せで大切にされたことは？



ご主人

信頼できるスタッフの方にお任せする、というスタンスで進めました。家づくり素人の私たちよりも、経験ある方に任せたほうが良い家になるに決まっている、と思ったので。何社か見学に行った中でも、工房信州のスタッフの皆さんは若いのにきちんとリードしてくれ頼もしかったです。プランはほぼ初案のとおりで進めたからこそまとまりあるデザインになったと思いますし、資金は賃貸暮らしと変わらない月々支払いで計画してもらえたので安心でした。



奥様

私はとにかく暖かい家、が第一希望でした。当初は全館空調の家が良いのではと思っていましたが、工房信州の家は芯から暖まるし空気もきれい。結果的に、全館空調の家より快適だなと満足しています。



やんちゃ盛りの三人兄弟が住む、千曲の家。
この家で感じる快活さは、家じゅうに溢れるみんなの笑顔はもちろん
家族が育てた山の木や、手作りしたステンドグラスなど
至るところに家族のあたたかな想いが込められているからこそ。
にぎやかなT様邸を訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.97



T様ご家族／ご夫婦と息子さん3人
建設地／千曲市 営業／上條友梨
竣 工／H30年2月 I C／柳澤悠子
敷地面積／95.68坪 プランナー／片桐寿美
延床面積／41.58坪 施工／脇坂奈緒



工房信州の家の決め手は
なんでしたか？



ご主人 住宅公園で、はじめは有名な大手メーカーを何社も見ました。どこも今どきのお洒落な家で、決して悪くはないけれど決め手に欠ける…とっていました。



奥様 でもはじめて工房信州の家を見学したとき、子どもたちの反応がまるで違いました！ぬくもりある木の感触が嬉しくて、吹抜けや土間などの面白い空間に大はしゃぎ。子どもが無邪気に喜ぶ姿は、とても印象深かったです。



ご主人 最後の決め手は、自分の山の木が使える、工房信州ならではの取り組みです。実家の山に祖父が植えたスギの木があり、父から家づくりに使うことを勧められて。

「地元の大工なら使えるぞ」とも言われたのですが、伐採から乾燥、製材、工事までの仕組みがしっかりして実績のある工房信州なら安心だと思いました。父は伐採の日も一緒に山へ入り、工事中も私たち以上に現場を気にかけてくれ、最後には「良い家になった」と言ってくれて嬉しかったです。



お住まい心地はいかがですか？



奥様 子どもたちがのびのびしていますね。子ども室と吹抜けを大きな障子でつながせたので、上下で声をかけあって楽しそうに遊んでいます。土間サロンも子どもたちの居場所にぴったり。おやつを食べて汚れてもいいし、摘んできた草花や獲ってきたクワガタを置いておいても平気だし、縄跳びの練習もできちゃう。土間なら気兼ねなく何でもできて、重宝しています。



ご主人 私は朝、以前はギリギリまで寝ていましたが、この冬は薪ストーブが楽しみで5時起きでした(笑)。火を眺めていると、不思議と落ち着くんです。夜の晩酌も、薪ストーブでお燗をすると格別。来シーズンのために薪づくりをしたり、毎日充実しています。



ご実家の山の木が立派な柱と梁になり、住まいの中心に美しく映える。



担当 柳澤悠子

ポイントは、なんといっても家族総出で作ったステンドグラスです。賑やかで楽しい、T様ファミリーらしい仕上がりになりました！

Focus on the Owner!!

4日間かけて手作りしたステンドグラスが、住まいのあちこちに。個室の建具にはめ込んだのは、それぞれのイニシャルがモチーフの作品。デザインも色合いも息子さんたちと一緒に決めた、思い出の一品。



個室にこもらないようにと、一階ダイニング横に設けた勉強コーナー。三人並んでゆったり作業ができる。



黄色の三和土仕上げで明るい印象の土間サロン。木製のペンダントライトがインテリアのポイントに。



キッチンから家じゅうが見渡せる、明るい対面キッチン。





笑顔が集まる食卓の家



T様の住まいの中心には大きなテーブルがあり、ごはんのときも、くつろぐときも、ここで団らんの時間を過ごします。余計なものは省き、大切なものを思いやり大切にできる、メリハリある設計の心地よさを教えてくれるT様邸を訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.96



緩やかな三寸勾配の切妻屋根と、高さを抑えたスマートな外観に常緑樹のグリーンが映える。



T様ご家族／ご夫婦と娘さん2人
建設地／長野市吉田 営業／吉川ひかる
竣工／H29年10月 I C／宮下知広
敷地面積／65.97坪 プランナー／片桐寿美
延床面積／31.54坪 施工／脇坂奈緒



家づくりのきっかけを教えてください！



ご主人 もともと住宅を見るのが好きで、雑誌やネットでよく眺めていました。工房信州の家を初めて見学したのは入籍前で、諏訪に遊びに行ったときに諏訪展示場の外観がステキだなと思ってふらりと立ち寄ったのです。いつまでも居たくなる心地良い家だなと感じました。



奥様 家づくりを具体的に始めるにあたり、まず土地探しをしました。なかなか上手くいかず一年位かかりました。良いと思った土地はすぐに売れてしまい「スピード感が大事なんだ」と痛感。担当の吉川さんから旬な土地情報をいただきながら無事購入できたこの土地は、売りの情報を得た翌日に見に行き、すぐに予約しました！

工房信州の家に決めた理由は、無垢の床や塗り壁の質感の良さ。打合せで展示場に行くと「ああ落ち着く」と癒されました。



ご主人 私にとっての最終的な決め手は、スタッフの姿勢でしょうか。マイホームへの思いが強かったので、いろいろな要望をお伝えしましたが、どんなときにも熱心に話を聞いてくれました。それと長時間の打合せのときにも小さい子どものことをよく気にかけてくれて。このスタッフの皆さんに信頼してお任せできる、と思ったことがいちばんの決め手です。実際に住み始めてみて「棚を増やしたい」など追加の要望にも、アフターサービスで手厚く対応して下さいるので、心強いです。



プランニングで大切にしたいことはなんですか？



ご主人 リビングには大きなテーブルを中心に置くスタイルを希望しました。私たち夫婦のそれぞれの実家も食卓に集まって団らんの過ごす時間が長かったので、我が家のライフスタイルに合っているかなと。気づくとこのテーブルに自然とみんなが集まって、話したり作業をしたりしていることが多いですね。その隣にはリビングとひとつながりの和室もあり、使いやすく気に入っています。



奥様 私のこだわりは、3.5畳の洗濯干し専用ルーム。脱衣室の隣にあって、天気の良い日は物干しデッキに直行できてとても楽です。以前の賃貸住宅ではリビングに干すしかなく、見た目にもごちゃごちゃするのがストレスだったので…。31坪の家の中でぜいたくなつくりではありますが、毎日のことなので、妥協しなくて本当に良かったです。



ご主人 夏になったら窓を開けてウッドデッキや庭で何をしようかと楽しみ。子どもが大きくなったら、小物を飾ったりインテリアもこだわりたい。この先がまだまだ楽しみです。



担当 吉川ひかる

「良い家をつくりたい」T様の熱い思いに応える最高のご提案を目指しました。入居宅のご案内などで、より納得してご検討いただけたと思います！



天井高を抑えた落ち着きと、吹抜けの開放感が調和する。大壁の内装がナチュラルな家具に似合う。



和室のテレビ台は作り付けの浮き棚ですっきりとしたデザイン。

玄関ポーチからウッドデッキへ連なる深い軒がファサードに表情を生み、季節の陽射しをコントロール。リビング窓はフルオープンサッシで、外とのつながりがより密になる。

